



名 寄 市
DX
推 進 計 画

概要版

令和5年3月発行

名寄市が目指す DXで変わる社会



いつでもどこでも
行政手続可能



病院に行けなくても
医師の診察が受けられる



農林業を効率化・自動化し
生産性を向上



脱炭素で
サステナブルな社会に



子どもから大人まで
いつでもどこでも
学び続けられる環境



ペーパーレス化で
業務効率向上



職員がどこでも業務ができ
災害時などでも市民サービスを維持



欲しい時に
欲しい情報が届く



デジタルで未来を拓き 市民とともに 人・暮らし・元気を育む名寄市

名寄市総合計画(第2次)にて掲げる将来像「自然の恵みと財産を活かし みんなでつくり育む 未来を拓く北の都市・名寄」を実現するため、市民、行政、事業者が相互に関わり合うことで、行政だけでは対処が難しかった課題を解決し、新しい価値を創造していくとともに、ずっと住み続けたいまち、そして未来の名寄市を担う人材が育つまちを目指します。

名寄市がこれから行っていくこと

名寄市が目指す社会を実現するため、まずは庁内からDXを推進し、市民本位のわかりやすい行政をつくります。そしてそれらを土台に、名寄市民が安心して健康に暮らせるよう市民、行政、事業者が相互に関わりながら地域のDXを進めていきます。



庁内のDX

わかりやすい行政実現に向けた
『次世代型業務環境』の構築

庁内のDX

時間と場所にとらわれない窓口と手続
『手のひら市役所』の実現

庁内のDX

なによりもまずは知ることから
職員の『情報リテラシー』の向上

庁内のDX

持続的な行政サービス向上を目指して
職員による『働き方改革』の推進

庁内のDX

もっと身近な市役所へ
『わかりやすい情報発信』への挑戦

庁内のDX

市民とともに人・暮らし・元気を育む
自治体間及び
『官民連携文化』の醸成



地域のDX

デジタルで地域経済活性化を後押し
『ウィズコロナ・アフターコロナに
おける事業者のICT化』の推進

地域のDX

デジタルとアナログの掛け算が大事
『誰一人取り残されない社会』
の実現

地域のDX

暮らしをもっと快適に
『市民へ安全・快適を届ける
都市環境』の整備

地域のDX

デジタルも活用して命を守る
『防災・減災』に向けた
積極的取組

地域のDX

人生100年時代に向けた学習支援
『子どもから大人まで
学び続けられる環境』の整備

地域のDX

市立病院のある名寄市だからできる
『北・北海道圏を牽引する
医療体制』の構築

地域のDX

一次産業の未来をつなぐ
『次世代スマート農林業』の実現

地域のDX

産まれてからずっと身近に
『ライフステージに応じた
トータルサポート』の実現

地域のDX

名寄市の強み、自然を活かす
『交流人口・関係人口』の創出

地域のDX

持続可能な名寄市へ
『脱炭素社会』の実現

POINT

- ✔ デジタル技術「も」活用して、住民本位の行政・地域・社会などを再デザインするための計画
- ✔ 概ね4カ年計画で行われる
- ✔ 庁内、地域の2つの分野でビジョンと施策を掲げ、誰ひとり取り残されない社会の実現を目指します

庁内のDX

『わかりやすい行政』

地域のDX

『ずっと住みたい名寄市』

もっと名寄市DX推進計画について
詳しく知りたい方はこちら



<http://www.city.nayoro.lg.jp/section/digital/prkeql0000035rsj.html>



名寄市 総務部 デジタル推進

〒096-8686 北海道名寄市大通南1丁目1番地

TEL:01654-3-2111 FAX:01654-2-5644